

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
ジャパンダートダービー	2018/7/11	JPN1	大井	2000m	スローペース	良	展開

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	ルヴァンスレーヴ	牡3	56	Mデム-口	シンボリクリスエス	ロベルト系	ネオユニヴァース	サンデー系	A	A	C	C	B	C	△2	
2	2	クリスタルシルバー	牡3	56	的場文	サムライハート	サンデー系	アジュディケーティング	ノーザン系	D	C	C	B	C	C		
3	3	グレートタイム	牡3	56	ルメール	キングカメハメハ	ミスプロ系	フジキセキ	サンデー系	B	A	A	C	B	B	△1	
	4	クロスケ	牡3	56	笹川	キャプテントウレ	サンデー系	ブライアンスタイル	ロベルト系	D	C	B	C	C	C		
4	5	バイラ	牡3	56	和田	ヘニーヒューズ	ノーザン系	デヒア	ノーザン系	D	B	D	C	C	C		
	6	サンダベンポート	牝3	54	上田	ストロングリターン	ロベルト系	ゴールドアリュール	サンデー系	D	C	D	D	D	D		
5	7	スーパージェット	牡3	56	山口	カネヒキリ	サンデー系	ダンシングブレイヴ	ノーザン系	D	A	D	D	D	D		
	8	ドンフォルティス	牡3	56	武豊	ヘニーヒューズ	ノーザン系	フジキセキ	ミスプロ系	A	A	B	B	A	B	▲	
6	9	テーオーエナジー	牡3	56	岩田	カネヒキリ	サンデー系	Crafty Prospector	ミスプロ系	A	B	B	A	A	B	◎	
	10	リコ-ワルサー	牡3	56	真島	ブラックタイド	サンデー系	デヒア	ノーザン系	D	B	B	C	C	C		
7	11	ハセノパイロ	牡3	56	矢野	パイロ	ナスルーラ系	ティンバーカントリー	ミスプロ系	C	B	B	B	B	B	×1	
	12	ハーベストムーン	牡3	56	戸崎	マンハッタンカフェ	サンデー系	キャプテンステイヴ	ダマスカス系	B	A	B	A	A	A	○	
8	13	アルファ-ティハ	牡3	56	吉原	パイロ	ナスルーラ系	War Chant	ノーザン系	D	A	D	D	D	D		
	14	オメガパフューム	牡3	56	川田	スウェプトオーヴァーボード	ミスプロ系	ゴールドアリュール	サンデー系	B	A	B	C	B	B	△3	

隊列図	見解	ラップタイム
ハーベ テーオ クリス ハセノ ドンフ オメガ バイラ グレー リコー クロス ルヴァ アルフ スーパ サンダ	<p>好メンバーがそろった今年のジャパンダートダービー。人気の中心はルヴァンスレーヴ。全日本2歳優駿、ユニコーンステークスをゴール前で流しながら完勝。単純な能力の絶対値だけで比較するなら現3歳ダート路線では一歩抜けた存在だろう。しかし、今回はその能力を出し切れるかに不安がつきまとう。まず1つはコース適性。どうもマイルに適性が出過ぎており、タフな大井2000mに変わってパフォーマンスダウンはあってもパフォーマンスアップは考えづらい。そしてもう1点は展開と枠順。メンバーを見渡す限り、逃げ、先行勢が手薄な組み合わせ。おそらくハーベストムーンが逃げられると思われるが、戸崎騎手ならスローペースに落とすはずで、スタートセンスがなく、ポテンシャル勝負でこそこの本馬にとっては決して歓迎すべき展開にはならないはず。エンジンのかかりが遅く、やや不器用なシンボリクリスエス産駒なので1枠1番もマイナスになるだろう。「ルヴァンスレーヴは馬券圏外もある」と考えるのであれば、ここは馬券的にも面白いレースになりそうだ。それでは予想にいきましょう。</p> <p>本命はテーオーエナジーが勝ち負け濃厚と見た。(以下省略)</p>	回顧 次走狙い馬

スローペース

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	ルヴァンスレーヴ	△2	前走から条件が好転するのはとても思えない。ジャパンダートダービーの歴史を振り返っても、ユニコーンステークス勝ち馬はジャパンダートダービーで人気以下に敗れるケースが多い。		
2	2	クリスタルシルバー		前走東京ダービーは内に切り込んでいき、インベタでの2着。勝ち馬ハセノパイロとは着差以上に能力差を感じる内容で、今回もまずハセノパイロには先着出来ないだろう。		
3	3	グレートタイム	△1	ユニコーンステークスでルヴァンスレーヴに完敗だったが、大井2000mに変わって上積みが期待できるのは本馬のほうだろう。スタートセンスのなさはネックだが、ルヴァンスレーヴよりは反応がよく、1コーナーまでの距離が十分にある大井2000mなら流れに乗せた競馬ができるかもしれない。		
	4	クロスケ		前走東京ダービーでは勝ち馬ハセノパイロから0.1秒差の3着。ハセノパイロを買うなら本馬も…と考えてしまうが、東京ダービーは着差以上に能力差を感じる内容だった。JRA勢相手東京ダービー(3着)以上の着順はさすがに望めない。		
4	5	バイラ		JRA勢7頭の中で最も格下。ベストは1400mだろう。		
	6	サンダベンボート		JRAの500万下・はこべら賞で5.0秒も負けている馬。ここは参加するだけだろう。		
5	7	スーパージェット		九州ダービー、高知優駿とダービー2勝を挙げているが、高知優駿で0.1秒差の2着だったコスモバレットは南関東の特別戦すら勝てない馬。コスモバレットを基準に考えると本馬は南関東の3歳特別戦で勝ち負けくらいのレベルだろう。		
	8	ドンフォルティス	▲	対ルヴァンスレーヴとは1勝1敗で、先着を果たしたのはルヴァンスレーヴより早めに動いた伏電ステークス。今回も道中の位置取りはドンフォルティスが前、ルヴァンスレーヴが後ろになるはずで、ルヴァンスレーヴが追い込んできてもドンフォルティスが先にゴール板に飛び込みそうだ。		
6	9	テーオーエナジー	◎	単純に能力の絶対値が高いほかにもレースセンスの高さ、追われてからの反応の良さ、地方経験など欠点という欠点が正直、見当たらない。道中はおそらくハーベストムーンを行かしての2、3番手。展開、今の大井の馬場なら簡単には止まらないはずだ。		
	10	リコーワルサー		2走前の羽田盃ではハセノパイロに先着を果たしているが、上昇度を考えるとハセノパイロ>リコーワルサーと判断して良さそう。ハセノパイロでも基本的に厳しいと見ているので、本馬までは印が回らない。		
7	11	ハセノパイロ	×1	今年はJRA勢の層が厚く、押さえるか消すか迷ったが、JRA勢すべてが能力通りに走るとは限らず、JRA勢の何頭かが自滅すれば、本馬にも馬券圏内のチャンスは巡ってくる。ただ基本的には好走しても3着までと考えたい。		
	12	ハーベストムーン	○	前走ユニコーンステークスで初めて崩れてしまったが、マイルのスピード勝負がいかにも合っていないかった感じでノーカウントの一戦と割り切っていだろう。今回はコーナー4回の2000m戦。2走前の鳳雛ステークスのようにマイペースで逃げられれば、ガラリイ姿があってもいい。		
8	13	アルファティハ		石川ダービー勝ち馬も、元JRAの未勝利馬。ダートグレードでは回ってくるだけで終わるだろう。そもそも逃げられないはず。		
	14	オメガパフューム	△3	2戦目の500万下以降、本命を打ち続けている馬。このメンバーに入っても能力的にヒケを取らないが、新馬462キロ→加古川特別446キロと馬体重が減少傾向。この成長期に身体が減っているのは決して歓迎すべきことではなく、輸送でさらに減るようであれば、一番飛び可能性が高そうだ。		